



「ぶち図書館まつり開催」

2017年の開催以来、アスベスト除去工事、台風、コロナ禍などにより、開催中止が続いていた「図書館まつり」を、小規模ながら4年ぶりに開催することができました。（詳細は特集1でご紹介します。）

目 次

- ▶ 特集1 「ぶち図書館まつり開催」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 特集2 「雑誌スポンサー制度と企業紹介展」・・・・・・・・・・ 3～4
- ▶ 活動報告
 - 「〔職場研修〕認知症サポーター養成講座」・・・・・・・・・・ 5
 - 「連携事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 「館内イベント」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～10
 - 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～14
 - 「研修事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～19
- ▶ 令和3年度（2021年度）北海道立図書館協議会・・・・・・・・・・ 20
- ▶ 令和3年度（2021年度）
 - 全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・ 21
- ▶ 令和3年度（2021年度）下半期の事業一覧・・・・・・・・・・ 22
- ▶ 令和4年度（2022年度）事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

ぷち図書館まつり開催

■ 日 時：令和3年（2021年）11月3日（水）10：00～15：00

■ 会 場：1階 えほんコーナー・研修室・エントランスホール

中2階 多目的室



当館の「図書館まつり」は平成29年（2017年）7月30日（日）に開催後、アスベスト除去工事、台風、コロナ禍などにより、開催中止が続いていました。

このたびの開催についても、当初は令和3年（2021年）10月9日（土）開催の予定で準備を進めていましたが、緊急事態宣言（8月27日（金）～9月12日（日））が9月30日（木）まで延長したのに伴い、9月9日（木）に中止を決定しました。

その後、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていたことから、9月下旬に日程の再検討を行い、独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家との共催で11月3日（水）に開催することとなりました。

江別市内の小学校、幼稚園、保育園や新札幌～江別エリアにある文化施設のネットワーク「かるちゃんnet」の参加施設などにポスター・チラシの配布を行ったほか、「まんまる新聞」「北海道新聞 江別版」に開催について掲載を依頼しました。開催についての案内が短期間となりましたが、多くの来館者にご参加いただけました。

今回の「ぷち図書館まつり」で実施した事業は次のとおりです。

○体験の風をおこそう（「体験の里」日高から体験の風をおこそう運動実行委員会）

①缶バッジ作り体験（独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家）

えほんコーナーの小上がりスペースに座卓を置き、缶バッジを作る体験を行いました。絵柄は日高青少年自然の家が持参したのものを選んでもらうほか、希望者は自分で台紙に絵を描いて自分だけの缶バッジを作りました。



缶バッジを作る機械を自分で操作する体験は子どもたちに大人気でした。

②バッグタグ作り体験（ネイパル砂川）

ネイパル砂川で用意した木を薄く輪切りにした素材を紙やすりで磨き、ポスターカラーなどで絵を描いて、ひもを付けてバッグタグを作りました。大人も子どもも輪切りにした木の表面をきれいに磨き上げ、素敵なバッグタグを作っていました。



③手作りコマ体験（ネイパル深川）

コマの本体となる木を選んで色を塗り、コマの軸を木槌で打ち込み、紙やすりで軸を調整してコマを作りました。小さな子どもネイパル深川職員の補助を受けながら木槌を使ってコマの軸を打ち込んでいました。



④子どもゆめ基金説明会（独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家）

■ 場 所：1階エントランスホール

希望者に子どもゆめ基金の説明及び基金への申込みの際の注意点について説明会を行いました。

○ミニ書庫ツアー

■ 時 間：①11:00～ ②13:30～

書庫にある資料を巡りながら、道立図書館の歴史をたどるミニ書庫ツアーを行いました。第1書庫地層の旧分類資料から、1層の栗田文庫、北方資料室、第2書庫の新聞・雑誌のバックナンバーを紹介しました。最後に希望者は館長室で記念撮影をしました。



○かるちやる net パネル展

■ 日 時：10月30日（土）～11月14日（日） 図書館まつりに併せて展示

■ 場 所：中2階多目的室

新札幌一江別エリアにある文化施設のネットワーク「かるちやる net」の紹介パネル展を行い、併せて各施設のパンフレットコーナーを設置しました。 (事業運営プロジェクトチーム)

雑誌スポンサー制度と企業紹介展

■「雑誌スポンサー制度」とは？

雑誌を定期購入して納めていただくことで、雑誌架や雑誌最新号のカバー表側に企業名を掲示するとともに、ホームページでスポンサーとして紹介を行うほか、雑誌最新号のカバー裏側を広告掲載などで自由に活用していただくことができる、企業や個人事業者を対象とした制度です。

雑誌というコンテンツは、暮らしのヒントやビジネスに役立つ最新のトレンドがわかる情報の宝庫として、毎日多くの来館者が利用しています。人気雑誌の充実を図るため、当館でも令和元年度からこの制度を導入し、雑誌の継続的な収集と保存にご協力いただいております。

■ 雑誌スポンサー企業紹介展

スポンサー企業とともに関連資料を紹介する資料展示です。第1弾は「(株)わかさいも本舗」で、和菓子やその原材料についての本、和菓子の登場する読みものなどを展示しました。

開催期間は令和3年11月9日(火)から12月15日(水)までの予定でしたが、好評によりたくさんの展示資料が利用され、SNSでも多くの反響をいただいたことから、12月26日(日)まで会期を延長しました。ほかの企業紹介展も順次開催します。



令和3年11月17日投稿Facebook



令和3年12月7日投稿Twitter

■ 令和3年12月現在のスポンサー企業

【株式会社 北菓楼 様】

バウムクーヘン「妖精の森」や「開拓おかき」で有名な、砂川市に本社を構える菓子店。
『婦人画報』（婦人画報社）の提供にご協力いただいています。



URL : <https://www.kitakaro.com/>

砂川本店：北海道砂川市西1条北19丁目2番1号

電話番号 0125-53-1515

営業時間 9:00~18:00

【株式会社 わかさいも本舗 様】

洞爺湖温泉の名物として生まれた「わかさいも」や「北海道じゃがッキー」が有名な菓子店。
『スポーツグラフィック ナンバー』（文藝春秋社）の提供にご協力いただいています。



URL : <https://www.wakasaimo.com/>

洞爺湖本店：北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉144番地

電話番号 0142-75-4111

営業時間 9:00~18:00

【株式会社 富士メガネ 様】

樺太（現在のサハリン）で誕生し、北海道を中心に国内外で活動しているメガネ店。
『健康』（主婦の友社）の提供にご協力いただいています。



URL : <http://www.fujimegane.co.jp/>

狸小路本店：北海道札幌市中央区南2条西4丁目7

電話番号 011-231-7151

営業時間 10:00~19:30

(資料整備課)

〔職場研修〕 認知症サポーター養成講座

令和3年度職場研修として、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。認知症について正しい知識を持ち、認知症の方に対する理解や対応ができるようにすることにより、来館者へのサービスの向上を図ることを目的としたものです。コロナ対応のため、2グループに分けて開催し、34名が受講しました。

- 日 時：令和3年（2021年）10月29日（金）
- 会 場：研修室
- 内 容：認知症サポーター養成講座

大麻第一地域包括支援センター 社会福祉士 高橋 孝丞 様
社会福祉士 辻山 純代 様

大麻第一地域包括支援センターからお二人の講師をお迎えしお話をいただきました。パワーポイントによる講座では、認知症を正しく理解することからはじまり、認知症を引き起こす主な病気についてや、認知症の症状には中核症状と行動・心理症状があると説明を受けました。これに対し、認知症の診断・治療には早期発見・早期受診・診断、早期治療が大事であり、初期は専門の医療機関の受診が不可欠であるとお話でした。認知症の人への対応、ガイドラインとして、1 驚かせない、2 急がせない、3 自尊心を傷つけないことが基本姿勢であり、まずは見守る、余裕をもって対応するなど具体的な7つのポイントを教えていただきました。「困ったときは大麻第一地域包括支援センターにまずはご相談ください。」とのことばがありました。受講終了後には、認知症サポーターの証として、受講者全員に江別市の「認知症サポーターカード」をいただきました。



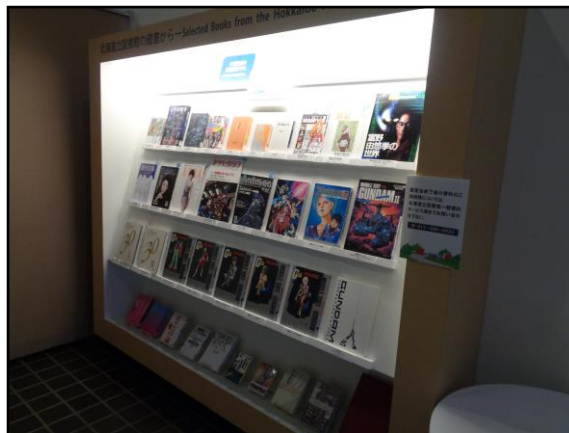
(研修プロジェクトチーム)

連携事業

【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

道立近代美術館が開催する展覧会にあわせ、美術館内に当館の蔵書を紹介するコーナーを設置しています。

下半期は、数多くのアニメ作品の総監督を務め、今なお精力的に作品を送り出すアニメ界の巨匠の仕事を総覧する「富野由悠季の世界ーガンダム、イデオン、そして今」に関連する図書や雑誌等の資料を展示し、展覧会をご覧になった方々に手に取っていただきました。



富野由悠季の世界展 展示の様子

【道立図書館・道議会図書室連携展示】

当館と道議会図書室の連携事業のひとつとして、道議会図書室で毎月購入する新着図書に合わせて、関連する分野の当館所蔵図書を展示しています。「新着図書+（プラス）」のコーナーとして、まちづくりや防災、SDGs、感染症に関する本などを展示し、一般の方も道議会図書室内で手に取ってご覧いただいています。毎月の展示資料リストは、当館ホームページの「インフォメーション」 「展示」 → 「北海道議会図書室連携展示」 からご覧いただくことができます。



新着図書+（プラス）コーナー



新着図書コーナー

（一般資料サービス課）

館内イベント

【北方資料室50周年事業 講演会「アイヌ語を書くー知里幸恵とアイヌ語の記録ー】

- 日 時：令和3年（2021年）10月23日（土）14：00～16：00
- 会 場：研修室
- 内 容：

50周年を迎えた北方資料室の事業として、国立アイヌ民族博物館から深澤美香研究員を講師に迎え、アイヌ語をテーマに講演会を開催しました。当館が所蔵する「知里幸恵ノート」（北海道指定有形文化財）をアイヌ民族博物館において展示しているこの機会に、アイヌ民族やアイヌ文化への興味・関心が一層高まることを期待して企画したもので、20代から80代まで19名の参加がありました。



りました。

言語学が専門で、主に江戸時代のアイヌ語やアイヌ語方言を研究している深澤研究員による講演は、まずは世界の文字に関する話から始まり、エジプト文字（ヒエログリフ）

や楔形文字、漢字から生み出された多くの文字について紹介がありました。

そこからアイヌ語の筆録を17世紀までさかのぼり、和人によって漢字や平仮名、カタカナを使った例や、外国人によってラテン文字、キリル文字、ハングルなどで書き残された例が紹介されました。知里幸恵がローマ字で書き残した「知里幸恵ノート」や「アイヌ神謡集」は、アイヌ民族本人が主体的に記録したものとして、すでに100年もの歴史があります。

中盤では、国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブから音声を流し、参加者みんなでアイヌ語を書いてみることにチャレンジし、アイヌ語には日本語と異なる音があることを体感しました。tuの音を「ト」、-pの音を「ッ」など、書き表し方に工夫が必要だったことにも納得できたようでした。



関連資料展示は密を避けて北方資料室内で実施

知里幸恵の他にも、萱野茂、砂沢クラ、山本多助、そして葛野辰次郎など、多くの人たちが試行錯誤を重ねながら書き残してきた記録をたどり、アイヌ語を伝えようという熱意が心に残る講演でした。

(北方資料サービス課)

【書庫ツアー「道立図書館お宝紹介」】

- 日 時：令和3年（2021年）11月6日（土）14：00～16：00
- 会 場：研修室、第1書庫、第2書庫、北方資料室書庫等
- 内 容：

「道立図書館お宝紹介」と題して、通常利用者が立ち入ることのできない書庫内を巡るツアーを読書週間の期間に合わせて開催して、11名の方にご参加いただきました。

最初に研修室で、北海道新聞江別版の連載記事でも取り上げられた道立図書館の貴重な「お宝」資料の説明を行った後で、館内各所を案内しました。

ツアーに当たっては、研修室の説明で紹介した資料を各所に配置し、後年復刊された資料も比較として並べるなどして、より理解が深まるようにしました。新型コロナウイルス感染防止のため定員を例年の半分に減らし、マスク着用等の対策を行った上で実施しました。

終了後のアンケートでは、「初めてこちらに来ることができ、書庫の中も見られてとても楽しかったです」、「時代の古い本がたくさん保存されていることに感心しました」、「どれも興味深い資料でいっぱいでした」等の感想をいただきました。



第1書庫地層で旧分類資料を紹介



北方資料室書庫で古い地図を紹介



第2書庫1層で栗田雑誌を紹介

(一般資料サービス課)

【講演会「映像によみがえる北海道」】

■ 日 時：令和3年（2021年）12月4日（土）14：00～16：00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

「ここでゴザを織っているアイヌ民族の女性は、明らかに身の回りの人々や作業を手伝ってくれた仲間への感謝の言葉を唱えているのに、映像作品の中では『自然への感謝の祈りを唱えている』とナレーションが入っています。これは、なぜなのでしょう？」

12月4日（土）、講師に奥田統己先生（北海道博物館非常勤研究員/札幌学院大学教授）をお迎えして、講演会「映像によみがえる北海道」を開催しました。講演会では、静内川流域で暮らすアイヌの人々を撮影した1980年代初頭の記録映像を鑑賞し、そこで作られていたゴザの実物展示等も通して、北海道に伝わるアイヌ文化の豊かさを実感することができました。また、映像の細部をしっかりと示しながらの解説と批評は、私たちがアイヌ文化に対して抱いている先入観を問い直していくためのヒントとなりました。

今回鑑賞した映像は40年前に制作された作品です。ナレーションやテロップも、そのころの知識と感覚で作られています。当時の制作班はどのような意識でこの映像記録を作成したのかという



点を新しい研究の視点で解説する講師のお話は、近年のアイヌ文化研究の進歩を物語るものであり、また、実際にゴザ作りに挑戦した講師の体験と苦勞、今回展示した「ゴザ」が、もう少しで外国の博物館に収蔵されてしまうところだったというエピソードなども含め、終始和やかな雰囲気の中で講演が進められました。

冒頭に紹介した、講師の問いかけが今回の講演の大きなテーマでした。私たちは無意識のうちにステレオタイプ＝紋切り型の発想で物事を捉えがちです。「アイヌ民族なら●●なはずだ」、「日本人なら昔から●●だったはずだ」等々。なぜそういった思い込みを持つようになったのかということ振り返り、刷り込まれた先入観から離れて客観的な事実と向き合っていくことの大切さを説いていただいた奥田先生のお話が、美しい映像と素敵なアイヌ工芸品と相まって、非常に心に残る講演会となりました。

奥田先生、そして参加されたみなさん。どうもありがとうございました。（北方資料サービス課）

【わかりやすい健康に関する情報講座】

好評だった昨年度に引き続き、北海道江別保健所との連携講座第3弾「わかりやすい健康に関する情報講座」を開催し、11名が参加しました。

■ 日 時：令和3年（2021年）12月16日（木）14:00～16:00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

ミニ講座「本やインターネットで健康情報を調べよう！本の探し方 ～感染症関係を例にして～」

道立図書館利用サービス部一般資料サービス課主任 國安 華子

講義「新型コロナウイルスとの上手なつきあい方 ～からだところのセルフケア～」

北海道江別保健所保健師 藤川 洋子 様

〃 保健師 春木 礼果 様

コロナ禍で生活様式が変化する中で、活動量の低下や不安やストレスによる心身の不調を抱える人が増加していると言われています。

今回は、新型コロナウイルス感染症についての知識を学ぶとともに、上手につきあっていくためのセルフケア法について、専門家の立場からお話いただきました。



講座では、まず、当館職員が健康情報の調べ方を紹介するミニ講座を行い、続いて、江別保健所の保健師お二人から、新型コロナウイルスの特徴や予防法等について実演を交えお話いただきました。講義の後半は、からだと心の健康の保ち方についてのお話と、気軽にできる体操を参加者全員で体験しました。

新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ等さまざまな感染症が増えるこの時期、手洗いやマスクの着用、規則正しい生活が予防の基本であることを再認識する講座となりました。



(一般資料サービス課)

展示を振り返って

【一般資料閲覧室】

○「ひとときの癒し、和みを探して」

期 間：7月31日（土）～9月29日（水）

コロナ禍も1年半を過ぎ、ストレス過多の毎日に、ひとときの癒しを。動物や美しい風景などの写真集、安らぎの趣味の本、つい笑ってしまうおもしろ本、大人の心にも染み入る絵本など、種々集めました。



○「本で楽しむ正倉院」

期 間：9月15日（水）～11月7日（日）

道立近代美術館で開催された特別展「よみがえる正倉院宝物 再現模造にみる天平の技」にあわせて、正倉院宝物やそれらの保存・復元に関する本など58冊を展示し、展示資料リストと特別展のパンフレットの配布も行いました。

当館では、平成30年度から、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、蔵書を紹介する特設コーナーを美術館内に設置していますが、この特別展の際にはスペースの都合により、当館内で展示を行い、展示資料リストは美術館内でも配布しました。



○「変える!? 変わる! ウィズコロナ時代の働き方」

期 間：10月1日（金）～11月28日（日）

新型コロナウイルス感染症により働き方が大きく変化していることから、テレワークなどウィズコロナ時代の働き方を考える本を展示しました。「アフターコロナ」「コロナ後の働き方」「在宅勤務・テレワーク」「起業・副業・就職」「感染対策とメンタルヘルス」のテーマをもとに100冊を展示。展示資料リストをホームページに公開しました。



○「科学道100冊」

期 間：12月1日（水）～1月27日（木）

「科学道100冊」は、書籍を通じて科学者の生き方・考え方、科学のおもしろさ・素晴らしさを届ける事業で、理化学研究所と編集工学研究所により選ばれた100冊の本が、全国の図書館等で展示されています。

当館では、令和元年から展示を行い、今回で3回目の開催です。今年は「未来エンジニアリング」、「脳とココロ」、「つながる地球」の旬なトピックで選ばれた50冊と、時代を経ても古びない良書として選ばれた「科学道クラシック」50冊をあわせた100冊の中から、当館の所蔵資料を展示しました。

○「冬の生活応援BOOKS」

期 間：1月29日（土）～3月30日（水）

寒さに加え、今年の冬の生活に大きな影響を与えている燃料や食品等の価格高騰。そこで、「家計と健康を応援」をテーマに、そんな冬の生活を元気に乗り切るヒントが見つかった、いろいろなジャンルの本約180冊を展示しました。



(一般資料サービス課)

○「テーマ別課題解決支援資料紹介展」

期 間：1月4日（火）～1月30日（日）

北海道立図書館では、道民の皆さまの生活や地域における様々な課題に対応するため、「くらしの支援」「しごとの支援」「地域の活性化支援」に関する資料を重点的に収集しています。本展示では、暮らしの身近な困りごとに役立つ本や、ビジネスシーンで活用できるものなどを幅広く紹介しました。



(資料整備課)

【えほんコーナー】

○「アートなえほん」

期 間：9月1日（水）～11月28日（日）

絵画を鑑賞するように、美しい絵に注目して絵本を堪能してもらえよう、文字がなく絵だけの絵本や、名画を紹介する絵本など、絵が魅力的な絵本を約220冊展示しました。



○「絵本のめいろでかくれんぼ - 迷路と絵さがしの本 -」

期 間：10月30日（土）～12月26日（日）

寒い季節は家の中にいることも多くなりがちですが、絵本を長く見つめていればいつの間にか時間の経つのも忘れてしまいます。

子どもも大人も一緒に楽しめる迷路や絵さがしの絵本を、古典的な名作から新作・人気シリーズまで幅広く170冊以上集めて展示しました。



○「はたらく車、大集合！」

期 間：1月4日（火）～2月24日（木）

荷物を運んだり、町をきれいにしたり、人を助けたり……。私たちの周りで活躍しているさまざまな車について調べる本や図鑑、はたらく車がテーマのお話や絵本などを約130冊集め、展示しました。



(一般資料サービス課)

【一般資料閲覧室北方資料展示コーナー】

○「上を向いて歩こう～成長と発展の1960年代」

期 間：7月31日（土）～9月29日（水）

故・坂本九氏が1961年に「上を向いて歩こう」をリリースしてから60年。日本が高度経済成長の

レールを走り、北海道でも皆が「上を向いて」歩いていた1960年代を、①商業の視点から経済の発展を示すデパートのちらしや広告資料、②国民所得の向上とともに観光旅行が盛んとなり、多くの観光客が北海道を目指していたことを示す雑誌や観光案内、③当時の人々の「北海道へのまなざし」が歌詞やメロディに体现された流行歌のドーナツ盤レコードと急激にお茶の間に普及したTVの番組表、そして④「経済成長がもたらした矛盾」として、社会への異議申し立てであった労働運動や学生運動等の資料という4つのコーナーで展示を構成しました。

身近な過去である1960年代。資料を通じて振り返ってみると、いろいろな困難を抱えながらも、多くの人々が明日を見据えるエネルギーと希望を持って暮らしていた時代のように思われます。2020年代も、彼らに負けないくらい希望の持てる時代にしていかなければならない。そのようなことを感じた展示でした。



○「絵はがきが伝える北海道・樺太」

期 間：10月1日（金）～11月28日（日）

当館所蔵の絵はがきから、開拓者の生活や北海道の交通が発展していく状況、過去の出来事や産業、商業の様子が分かるものなど、4つのテーマに分けて紹介しました。また、樺太の主要な街を紹介する絵はがきも並べ、当時の様子を見ることができました。



○「ふるさと絵本の世界へようこそ」

期 間：12月1日（水）～1月27日（木）

「ふるさと絵本」を知っていますか？ 郷土絵本を中心に北海道を題材とした絵本を展示しました。道内のいろいろな市町村で発行している「ふるさと絵本」。その地域や伝承を、楽しい挿絵とともに楽しんでいただきました。



(北方資料サービス課)

研修事業

【令和3年度（2021年度）全道図書館中堅職員研修会】

この研修会は、図書館運営・企画能力の向上、変化する図書館ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的に、道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して3年以上の職員を対象として実施しています。今年度は、「地域に役立つサービスの提供」をキーワードに、新しい研修形式として、当初からオンラインで開催するよう企画しました。

特に、本の紹介を通してゲーム感覚で楽しみながら本への関心を持つことができる「ビブリオバトル」をオンラインで実施するための実習は、Zoomの機能を使用したグループごとの予選のあと、チャンプ本を決める決戦と投票を行い、全道各地の参加者を結んだバトルとなりました。オンライン形式で事業を展開する際のヒントになるといった感想など、好評を得ました。

期 日：令和3年（2021年）

7月8日（木）～9日（金）

会 場：オンライン開催（Zoomを使用）

参加人数：38名

日 程：

【1日目】

基調講演「地方の活性化と図書館

知の情報拠点としての公立図書館の役割」

講師：北海道大学公共政策大学院 客員教授 小磯 修二 様

事例発表「マチ・ヒトと本をつなげる取組」

①「書を捨てよマチに出よう ～暮らしに役立つ図書館へ ゼロからのチャレンジ～」

発表者：市立小樽図書館 館長 鈴木 浩一 様

②「まちの事業所・商店とタイアップ『まちゼミ in 新ひだか』」

発表者：新ひだか町図書館 主幹 佐々木 亜貴 様

③『本を読むこと』の先を見据えて頭を動かし、工夫をこらすこと — 十勝での活動事例から —

発表者：大樹町地域おこし協力隊 長谷川 彩 様



オンライン運営の様子

【2日目】

講義・演習「ビブリオバトルで地域活性！ ～オンライン開催のススメ」

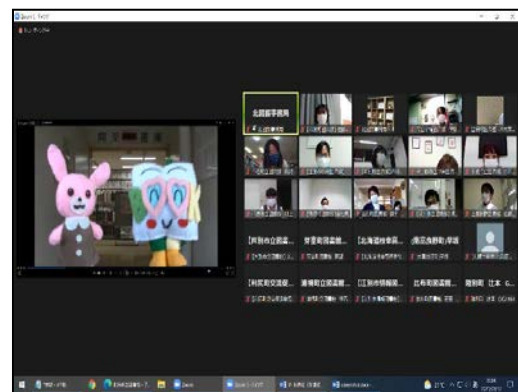
講師：帯広大谷短期大学附属図書館 司書 水野 有子 様

■ 事後アンケートから

- ・「まちゼミ」によって図書館からコミュニティが創出されるのは、地域の活性化や、街の人たちがつながる面白い取組だと思いました。
- ・ビブリオバトルが読書振興に効果的な事業であることが分かり、それがオンラインでも開催できるということに可能性を感じました。
- ・今回の研修では、直接会って話ができなくても、他の図書室、図書館の職員と交流することは可能と感じました。

【令和3年度（2021年度）全道図書館新任職員研修会】

例年6月開催の研修が緊急事態宣言により9月への延期ののち、9月においても状況が変わらず、急遽オンラインへ変更しての開催となりました。道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して原則1年未満の職員29名の参加がありました。オンライン開催による音声や映像の乱れ、参加者・外部講師の接続不良などの大きなトラブルはなかったものの、「道立図書館に実際に訪れて見学したかった」、「現地で顔をつきあわせての他館職員との交流ができず残念だった」などの意見が多く挙げられ、新任職員研修会を実地で行う重要性について再認識する機会ともなりました。



「施設見学」

※北星学園大学フィールド実習生が作成した館内案内動画を視聴

■ 期 日：

令和3年（2021年）9月16日（木）～17日（金）

※6月10日（木）～11日（金）から変更

■ 会 場：オンライン開催（Zoomを使用）

■ 参加人数：29名

■ 内 容 :

【1日目】

講義「公立図書館入門」 道立図書館利用サービス部長 伊藤 信彦

講義「あなたも図書館の顔！カウンターのお仕事」 石狩市民図書館主任(司書) 吉岡 律子 様

情報交換「お互いの図書館を知ろう！」 道立図書館総務企画部企画支援課主任 畑中 ゆい

【2日目】

講義「資料収集」 北見市立端野図書館奉仕係長(司書) 境 和恵 様

講義「著作権法 入門編」 道立図書館利用サービス部一般資料室資料整備課長 工藤 嘉一

講義「児童サービス」 栗山町図書館司書リーダー 菊地 愛実 様

司書 佐藤 貴子 様

講義「道立図書館活用術」

道立図書館利用サービス部一般資料室一般資料サービス課主任 藤田 さやか

北方資料室北方資料サービス課主査 山本 真紀

■ 事後アンケートから

- ・図書館の目的や基本的な知識を改めて確認できました。
- ・距離が遠いなどあまり交流する機会が少ない図書館の方とも情報を交換することができ、有意義な講義でした。
- ・今まで疑問だった事項が解消できました。
- ・直接他館の方と交流できなかったのはとても残念でしたが、Zoomでの講義という貴重な体験ができました。

【令和3年度全道図書館専門研修】

全道図書館専門研修は、実務に役立つ知識の習得とスキルの向上を目的として、図書館業務を「経営」「サービス」「子ども読書」の部門に分け、毎年度、異なる4テーマを設定し実施しているものです。今年度は「サービス(地域資料)」(10月14日)、「経営(企画・広報)」(11月12日)、「子ども読書(地域支援)」(12月9～10日)、「経営(関係法規)」(1月14日)のテーマで実施しました。また、年4回のうち2回については、札幌近郊の開催では参加が難しい職員の方々にも参加していただけるよう、道央・道南・道北・道東の4つの地区でローテーションを組んで地方開催をしており、今年度は八雲町(道南)と名寄市(道北)で開催しました。

今回は、10月に実施した「サービス（地域資料）」がテーマの研修と、11月に実施した「経営（企画・広報）」がテーマの2つの研修について報告します。

<サービス（地域資料）>

本研修では、ウポポイの開業や縄文遺跡群の世界文化遺産登録で北海道の地域文化への関心が高まる中、地域を記録する資料を保存・活用するという図書館の役割を考えました。

講演では、北海道埋蔵文化財センターが実際に行ってきた「埋蔵文化財を活用した学習プログラム」について、実際の教材を示しながらお話しいただきました。

また、多種多様な地域資料の収集(S)・保存(H)の工夫や活用(K)事例について講義を行うとともに、少人数に分かれてのグループワークでは、各図書館の地域資料に関する話題について自由に意見交換をしました。

■期 日：令和3年（2021年）10月14日（木）

■会 場：八雲町公民館 第1・2集会室

■参加人数：13名

■内 容：

講義「明日からはじめる地域資料のSHK」 道立図書館総務企画部企画支援課長 宮本 浩

講演「地域の歴史を身近に～埋蔵文化財を活用した体験学習による『私たちの文化財』」

(公財)北海道埋蔵文化財センター第1調査部普及活用課主査 坂本 尚史 様

グループワーク「聞きたい、話したい、地域資料のこと」

道立図書館総務企画部企画支援課主任 足立 早苗

■事後アンケートから

・自館の問題点について、新しい見方や解決の糸口を見つけることができました。



講義「明日からはじめる地域資料のSHK」



講演「地域の歴史を身近に」

- ・地域資料を受動的ではなく、能動的に収集し、利活用していく必要性を感じました。
- ・関係機関との連携を進めていきたいです。

<経営（企画・広報）>

「知ってもらい、来てもらう。進化する図書館広報」をテーマに、地域住民の読書活動支援のほか、「賑わいの創出」や「地域の課題解決の拠点」としての役割を果たす図書館の実現に向けて、効果的な図書館広報について考察しました。



チラシ・ポスター等で効果的に情報を伝える

講義「魅力的なチラシ、ポスターの（なるべくラクする）作り方」

ためのデザインについての講義では、演習も交えて実践的なご説明をいただきました。また、広報誌や掲示物等の実践について多数の事例をご紹介いただき、図書館に新たな利用者呼び込む工夫についても考えました。

■期 日：令和3年（2021年）11月12日（金）

■会 場：名寄市駅前交流プラザ「よろーな」 大会議室ABC

■参加人数：20名

■内 容：

講義「魅力的なチラシ、ポスターの（なるべくラクする）作り方」

株式会社佐藤デザイン室取締役 佐藤 裕子 様

事例紹介「図書館情報を“あなた”に ヤム・ニ・ウシ流情報発信」

栗山町図書館司書統括 野澤 香 様

講義・事例紹介「新たな利用者の獲得へ！ 視点を変えてひと工夫」

道立図書館総務企画部企画支援課長 宮本 浩

■事後アンケートから

- ・デザインや色の使い方などを実践的に学べ、今後のポスターやチラシ作りに役立てられると思いました。
- ・広報の作成の仕方、町民目線での図書館の環境作りが勉強になりました。
- ・どのように利用者の視点にそって考えるか見直していきたいです。



事例紹介「図書館情報を“あなた”にヤム・ニ・ウシ流情報発信」

（企画支援課）

令和3年度（2021年度）北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 令和3年（2021年）12月8日（水）
北海道立図書館研修室 出席委員 8名

議 題 令和2年度北海道立図書館業務実績報告について
令和3年度北海道立図書館事業の実施状況（中間報告）について

その他

- ・ 第2回 令和4年（2022年）3月18日（金）
北海道立図書館研修室・・・・・・開催予定

- 西村委員の令和3年3月31日付け辞任に伴い、大津委員が7月9日付けで就任されました。
- 難波委員の令和3年2月28日付け辞任に伴い、松浦委員が7月9日付けで就任されました。
- 京谷委員の令和3年8月31日付け辞任に伴い、川田委員が10月15日付けで就任されました。
- 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。
[道立図書館ホームページトップページ](#)>[道立図書館とは](#)>[道立図書館協議会](#)
ホームページアドレス：<https://www.library.pref.hokkaido.jp/>

(管理課)

令和3年度（2021年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

（公社）読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、今年度は次のとおり受賞が決定しました。

■ 全国表彰（1団体）

- ・おはなし会「わらべ」 由仁町 平成8年設立

■ 北海道表彰 本賞（5団体）

- ・読み聞かせ 子っ子の会 石狩市 平成19年設立
- ・おはなしサークル「かくれんぼ」 浦河町 平成2年設立
- ・函館絵本の会「銀のふね」 函館市 平成6年設立
- ・やくも朗読サークル 八雲町 平成18年設立
- ・本別町図書館ボランティア「ぶっくる」 本別町 平成12年設立

■ 北海道表彰 奨励賞（1団体）

- ・推薦なし

受賞グループの詳細については、北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第39号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。『北読進協だより』は当館ホームページからご覧いただけます。

[道立図書館ホームページトップページ](#)>[図書館の方へ](#)>北海道読書推進運動協議会

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qji1ds0000000fvt.html>

（企画支援課）



2021・第75回読書週間ポスター
（公益社団法人読書推進運動協議会）

令和3年度(2021年度)下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	全道図書館専門研修(サービス(地域資料))	令和3年10月14日	八雲町 (八雲町公民館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	13名	
2	講演会「アイヌ語を書く ―知里幸恵とアイヌ語の記録―」	令和3年10月23日	北海道立図書館	当館が所蔵する「知里幸恵ノート」(北海道指定有形文化財)の著者、知里幸恵をはじめとする様々なアイヌ語の筆録をテーマとする一般向け講演会	19名	
3	北海道立図書館書庫ツアー「道立図書館お宝紹介」	令和3年11月6日	北海道立図書館	道立図書館が所蔵する貴重な「お宝」資料を中心に、普段は入れない書庫の中を職員が紹介	11名	
4	全道図書館専門研修(経営(企画・広報))	令和3年11月12日	名寄市 (名寄市駅前交流プラザ「よろーな」)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	20名	
5	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	令和3年11月17日～ 令和4年1月23日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会「富野由悠季の世界」に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。	—	
6	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議 ※館長会議はZoom開催に変更 ※理事会は書面開催に変更	令和3年11月19日	書面開催 オンライン開催	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	43名 (館長会議)	
7	利用講座「映像によみがえる北海道」	令和3年12月4日	北海道立図書館	当館が所蔵する映像フィルムをデジタル化した「ふるさと動画DVD」を上映するとともに、当時の時代背景について解説する講座	18名	
8	わかりやすい健康に関する情報講座	令和3年12月16日	北海道立図書館	江別保健所保健師による、新型コロナウイルスとの上手なつきあい方についての健康講座	11名	
9	全道図書館専門研修(子ども読書(地域支援))	令和3年12月9日～ 12月10日	北海道立図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	27名	
10	全道図書館専門研修(経営(関係法規))	令和4年1月14日	北海道立図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	20名	
11	道議会図書室・道立図書館連携展示	毎月、道議会図書室の 新着図書の紹介と合わせて実施	札幌市 (北海道議会図書室)	道議会図書室で毎月購入する新着図書に関連する分野の道立図書館所蔵資料を「新着図書+(プラス)コーナー」として展示	—	

令和4年度（2022年度）事業計画

月	上旬	中旬	下旬
4			北図振 第1回理事会・総会（22日 札幌市） 子ども読書の日（23日） こどもの読書週間（4/23～5/12） 図書館記念日（30日） 大型えほん展示（下旬～5月上旬）
5	北学図 定期総会 図書館振興の月 北図振 管内図書館振興協議会等地方 研究集会（5～2月 各管内で開催）		北読進協 総会（札幌市）
6	北図振 北海道図書館大会（北日図連 北日本図書館大会 8～9日 札幌市） 北日図連 総会・第1回理事会（8日 北海道）	日図協 公共図書館部会総会（東京 都）	全公図 定期総会（東京都）
7	北図振 全道図書館中堅職員研修会（7 ～8日 当館）		第1回北海道立図書館協議会 北図振 「北海道図書館関係職員録」発行
8	子ども向け書庫ツアー		
9	北図振 全道図書館新任職員研修会 （8～9日 当館）		
10	日図協 全国図書館大会（6～7日 群 馬県（オンライン））	北図振 全道図書館専門研修〈サー ビス（資料保存）〉（14日 深川市） わかりやすい健康に関する情報講 座	第1回北海道図書館連絡会議 北日図連 北日本図書館連盟研究協議会（20 ～21日 秋田県） 日図協 全国公共図書館研究集会（27日～28 日 福井県） 北図振「北海道の図書館-令和4年4月現在 -」発行 読書週間（10/27～11/9） 文字・活字文化の日（27日）
11	北読進協 優良読書グループ表彰 図書館総合展（1～30日） 書庫ツアー	北日図連 北日本図書館地区別研修 会（16～18日） 北図振 第2回理事会・全道図書館 長会議（18日 札幌市） 北図振 全道図書館専門研修〈経営 （関係法規）〉（17日 音更町）	第2回北海道立図書館協議会
12	北学図 青少年読書感想文全道コン クール及び北海道指定図書読書感想 文コンクール表彰式（札幌市） 北図振 全道図書館専門研修〈サービ ス（地域資料）〉（8～9日 当館）		
1	北学図 北海道学校図書館研修講座	北図振 全道図書館専門研修〈子ど も読書（学校支援）〉（13日 当館）	
2			第2回北海道図書館連絡会議 北日図連 第2回理事会
3			第3回北海道立図書館協議会

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日図連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

北海道立図書館報 第212号

令和4年(2022年)3月18日 発行

北海道立図書館長 宇田賢治

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <https://www.library.pref.hokkaido.jp>